

済生会山形済生病院で診療を受けられた皆様へ

当院では、下記の臨床研究を実施しております。

本研究の対象者に該当する可能性のある方で、情報を研究目的に利用、または提供されることを希望されない場合は、下記の間合わせ先にお問合せください。

管理番号	463
研究課題名	3A 病棟における転倒・転落の原因と傾向の分析 ～患者を取り巻く環境について～
本研究の目的	病棟では転倒・転落をアセスメントし、対策立てて対応しているが、2020 年度は入院患者の転倒・転落の報告が 11 件となかなか減らない現状である。また、多い月で 3 件、少ない月で 0 件というように月ごとでもバラつきがみられる。3A 病棟で起こった転倒・転落のインシデント事例を分析する事で、3A 病棟における転倒・転落の傾向を明らかにし、有効な対策を考える事が出来るのではないかと考えた。
対象者	3A 病棟に 2019 年 4 月～2021 年 3 月の期間で入院した患者のうち、転倒・転落が起こった方。 上記期間に勤務していた 3A 病棟の看護師・看護補助者。
研究代表者	山形済生病院 3A 病棟 齋藤 由佳
当院の研究責任者	山形済生病院 3A 病棟 齋藤 由佳
実施（予定）期間	承認後～データ収集が終わるまで (2021 年 8 月～2022 年 2 月)
研究方法	インシデントレポート、病棟日誌を用いて分析、評価 単純集計
研究に用いる 試料・情報の種類	インシデントレポート、診療カルテ、病棟日誌
外部への試料・ 情報の提供・公表	院内学会でのポスター、抄録
個人情報の取扱い	データ収集、分析を行うにあたり、匿名性とし患者個人が特定されないよう、個人情報保護を行う。得られたデータは今回の研究以外での目的で使用はしない。研究者以外の者がデータを用いる事が無いようにし、データ流出を防ぐ。 対象者のプライバシーを尊重した上で分析を行う。